

## 実績確認概要書

平成 28 年 1 月 20 日  
ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	木質バイオマスボイラへの新設プロジェクト
承認番号	KC1158
排出削減事業者名	大林産業株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	佐山事業所製材工場 (住所：山口県山口市佐山 3-47 (山口テクノパーク内))
事業の概要	木質バイオマスボイラを1基新設する。木質バイオマスボイラを使用することによって、CO2 排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2013 年度 1,481tCO2/年 2014 年度 1,481tCO2/年 2015 年度 1,481tCO2/年 2016 年度 1,481tCO2/年 2017 年度 1,481tCO2/年 2018 年度 93tCO2/年 (J-クレジット事業実施期間合計 7,498 tCO2)
クレジット認証期間	J-クレジット制度 事業開始日 2013 年 4 月 1 日 終了予定日 2020 年 3 月 7 日
排出削減方法論	方法論番号 001-A 「ボイラーの新設」

### 2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2015 年 9 月 30 日 (第 3 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,661tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2015年9月30日)
-------	-------------------------------------------------

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第3回目の実績確認のため、該当なし</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した木質バイオマスボイラは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間におけるボイラ日誌、水質分析報告書等の記録により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1) モニタリング方法の確認 今回は現地訪問をしていないが、関係者へのヒアリング、ボイラ運転日誌、水質分析報告書の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、木質バイオマスボイラの運転に関するモニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 関係者への質問、ボイラ運転日誌、水質分析報告等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ボイラ給水量、ブロー率、バイオマスボイラの蒸気の比エンタルピー、バイオマスボイラの給水の比エンタルピーの記録の保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)ver2.3 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p>

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が 2020 年 3 月 7 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日から 2015 年 9 月 30 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2020 年 3 月 7 日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）  
なし。

#### 6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー量は、熱量換算 47,274GJ であることを確認した。

以上